

齋藤正俊先生 ご退職に寄せて

ジュニアスポーツ教育学科長 中瀬古 哲

本年3月をもちまして、ジュニアスポーツ教育学科の重鎮齋藤正俊先生が退職されることになりました。ジュニアスポーツ教育学科の創成期にご尽力いただきましたことに心より感謝を申し上げます。

ご退職に際し、齋藤正俊先生のこれまでのご貢献・ご活躍を紹介させていただき、感謝することをもって、巻頭言に替えさせていただきたいと思います。

齋藤先生は、1996年3月東京教育大学（現筑波大学）体育学部武道学科を卒業後、保健体育科教諭として、大阪府公立高等学校（21年）、大阪教育大学（17年）で勤務され、2011年4月本学ジュニアスポーツ教育学科教授として着任されました。大阪府公立高等学校教諭時代には、大阪府高等学校生活指導研究会副委員長、大阪教育大学教員時代には、大阪教育大学附属高等学校平野校舎副校長を歴任され、保健体育科教育とともに生徒指導並びに学校経営のリーダーとしてご活躍されました。

本学においては、38年間の保健体育教員並びに管理職の実務経験を活かして「保健体育科教育法」「武道」「教職論」「教育実習」「教育実習事前事後指導」「教職実践演習」等、保健体育科教員としての根幹を担う科目を担当していただきました。学科の教員採用試験対策にもご尽力いただきました。狭き門である公立学校採用試験におけるここ数年の現役合格は、齋藤先生のご活躍なしには成し得なかったでしょう。

また、実務経験のみに甘んじることなく、専門種目である「柔道」の発展普及並びに研究活動に邁進され、ジュニアスポーツ教育学科の学生に課している「文武両道」を最後まで貫かれました。「柔道」では、大学卒業後も全国教員柔道大会の大阪府代表選手（ベスト16）、監督として活躍されました。また、数々の国際レベルの競技会運営に携わるとともに少年柔道の指導者としても活躍されています。「講道館柔道八段」の他に、相撲三段、SAJ基礎スキー技能1級、のアスリート兼指導者です。

「研究」においては、2004年3月大阪教育大学大学院教育学研究科（教育学修士）を修了され、日本武道学会（理事）、日本体育学会、日本UK法・人間理解研究会（副会長）、に所属し、今も積極的に活動されています。直近の学会発表テーマは、「柔道におけるメンタルサポートに関する基礎研究3—強化選手40年間のUKデータから：曲線傾向3分類別分析—」（2019年筑波大学）

先生は学科長として学科運営にもご尽力なされました。また「飲んだろう会」を組織し大学の組織づくりにも目配りされていました。課題の多い学生を厳しいけれど見捨てることなく暖かく指導されていました。同僚にも学生にも厳しく・暖かい組織者・教育者の姿勢を引き継げるよう努力したいと思います。

この度、定めによりご退職されますが、先生の長年のご尽力心より感謝申し上げます。また、これからも先生との絆が末永く続きますよう切望するとともに、先生のますますのご健勝を心よりお祈り申し上げます。齋藤先生、本当にありがとうございました。